



2008年3月期 決算説明会

2008年3月期 決算概要

2008年5月14日

日本ユニシス株式会社
代表取締役専務執行役員

白鳥 惠治

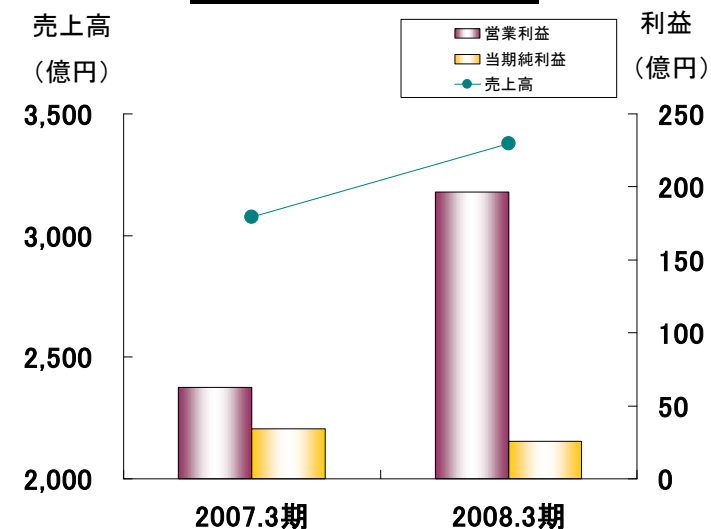
連結決算ハイライト

(百万円)

	2007.3期	2008.3期	増減額	増減率
売上高	307,455	337,759	+30,303	+9.9%
営業利益	6,278	19,649	+13,370	+212.9%
経常利益	6,646	19,265	+12,619	+189.9%
当期純利益	3,433	2,546	▲887	▲25.8%

- 売上高はネットマークスの新規連結もあり前期比303億円の増収
- 営業利益は商標等使用料の負担減に加え、システムサービスの採算性向上も寄与し前期比134億円の増益
- 特別損失として「のれん償却額」を81億円計上したことにより、当期純利益は25億円となった(前期比▲9億円の減益)

売上高・利益 推移



売上高の状況

● 売上区分別 売上高

(百万円)

売上区分		2007.3期	2008.3期	増減額	増減率
サービス		193,178	244,785	+51,606	+26.7%
	システムサービス	91,946	101,149	+9,203	+10.0%
	サポートサービス	58,786	57,651	▲1,135	▲1.9%
	アウトソーシング	24,826	26,453	+1,627	+6.6%
	ネットマークス サービス	—	42,858	+42,858	—
	その他サービス	17,617	16,670	▲946	▲5.4%
ソフトウェア		47,973	39,219	▲8,753	▲18.2%
ハードウェア		66,303	53,754	▲12,549	▲18.9%
	販売	53,813	43,151	▲10,661	▲19.8%
	賃貸	12,489	10,602	▲1,887	▲15.1%
合 計		307,455	337,759	+30,303	+9.9%

損益の状況

● 利益区分別 損益

(百万円)

	2007.3期	2008.3期	増減額	増減率
売上総利益	63,196	86,031	+22,835	+36.1%
販管費	56,917	66,382	+9,464	+16.6%
営業利益	6,278	19,649	+13,370	+212.9%
経常利益	6,646	19,265	+12,619	+189.9%
特別損益	▲335	▲9,049	▲8,714	—
当期純利益	3,433	2,546	▲887	▲25.8%

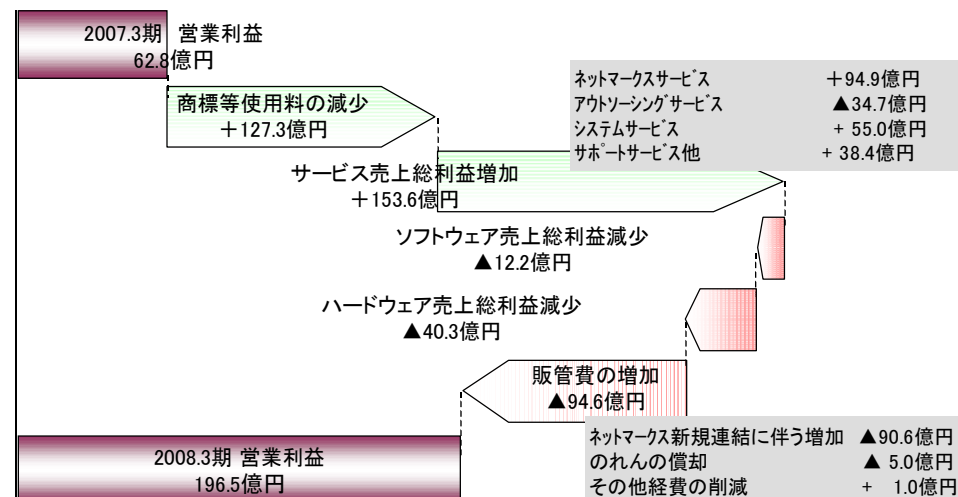
● 売上総利益比較

()内は利益率

(百万円)

売上区分	2007.3期	2008.3期	増減額
サービス	41,530 (21.5%)	56,897 (23.2%)	+15,366 (+1.7pt)
ソフトウェア	15,471 (32.3%)	14,244 (36.3%)	▲1,226 (+4.0pt)
ハードウェア	18,927 (28.5%)	14,889 (27.7%)	▲4,038 (▲0.8%)
商標等使用料	▲12,733	-	+12,733
合計	63,196 (20.6%)	86,031 (25.5%)	+22,835 (+4.9pt)

2008.3期 営業利益分解



キャッシュフロー、バランスシート of 状況

● キャッシュフローの状況 (百万円)

	2007.3期	2008.3期	増減額
営業 C F	8,813	18,591	+9,778
投資 C F	▲32,270	▲29,103	+3,167
F C F	▲23,457	▲10,511	+12,945

■フリーキャッシュフロー

ネットマークス株式の取得があったものの商標等使用料の支出減が寄与して大幅に改善

● バランスシートの状況 (百万円)

	2007.3期	2008.3期	増減額
総資産	237,861	258,457	+20,596
負債	150,843	172,116	+21,273
純資産	87,018	86,341	▲677

■バランスシート

ネットマークスの新規連結により総資産・負債ともに増加

純資産については有価証券の時価評価の影響で▲7億円の減少

(百万円)

	2007.3期	2008.3期	増減額
有利子負債	78,728	99,400	+20,671
(純有利子負債)	(55,492)	(77,786)	(+22,293)

■有利子負債

ネットマークス株式取得費用等の資金需要に対応

2009年3月期 連結業績見通し

● 現時点の業績見通し

(百万円)

	2008.3期	2009.3期予	増減額	増減率
売上高	337,759	345,000	+7,240	+2.1%
売上総利益	86,031	88,000	+1,968	+2.3%
販管費	66,382	66,000	▲382	▲0.6%
営業利益	19,649	22,000	+2,350	+12.0%
経常利益	19,265	21,000	+1,734	+9.0%
当期純利益	2,546	11,000	+8,453	+332.1%

- 売上高はシステムサービスの伸びが牽引し、2.1%の増収となる見込み
- 営業利益は、主にシステムサービスの採算性向上により12%の増益となる見込み
- 当期純利益に関しては、前期比85億円増益の110億円を計画

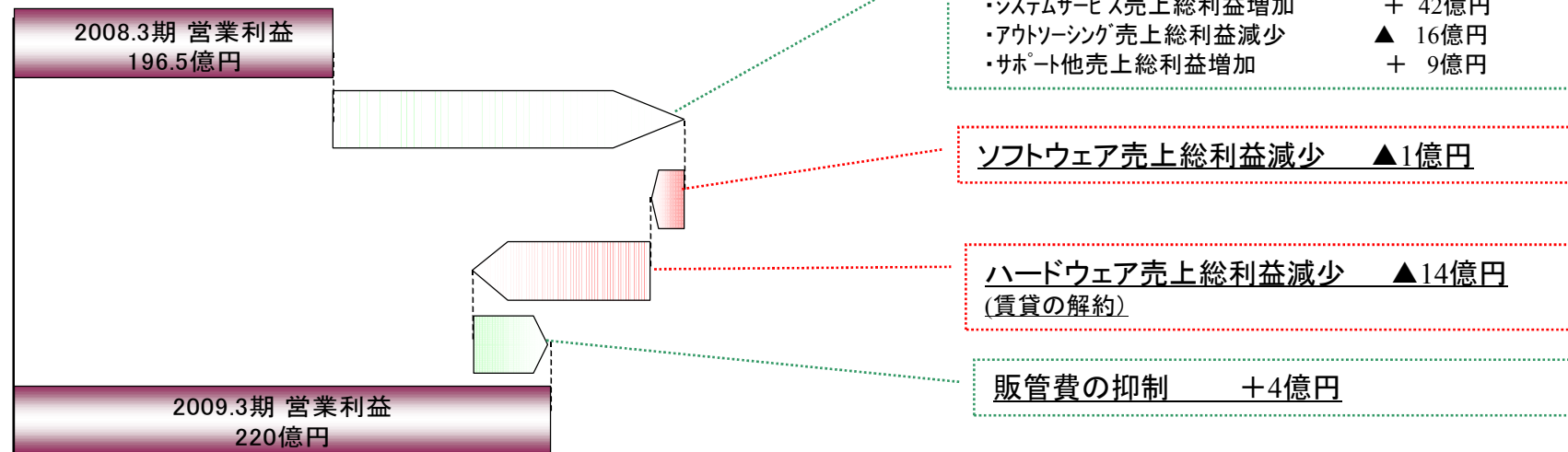
2009年3月期 区分別売上／利益見通し

● 区分別売上／売上総利益比較

(百万円)

売上区分	2008.3期		2009.3期予		増減額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
サービス	244,785	56,897	248,800	60,400	+4,014	+3,502
ソフトウェア	39,219	14,244	42,000	14,100	+2,780	▲144
ハードウェア	53,754	14,889	54,200	13,500	+445	▲1,389
合計	337,759	86,031	345,000	88,000	+7,240	+1,968

● 2009年3月期予想 営業利益分解





2008年3月期 決算説明会

成長計画2008—2009

2008年5月14日

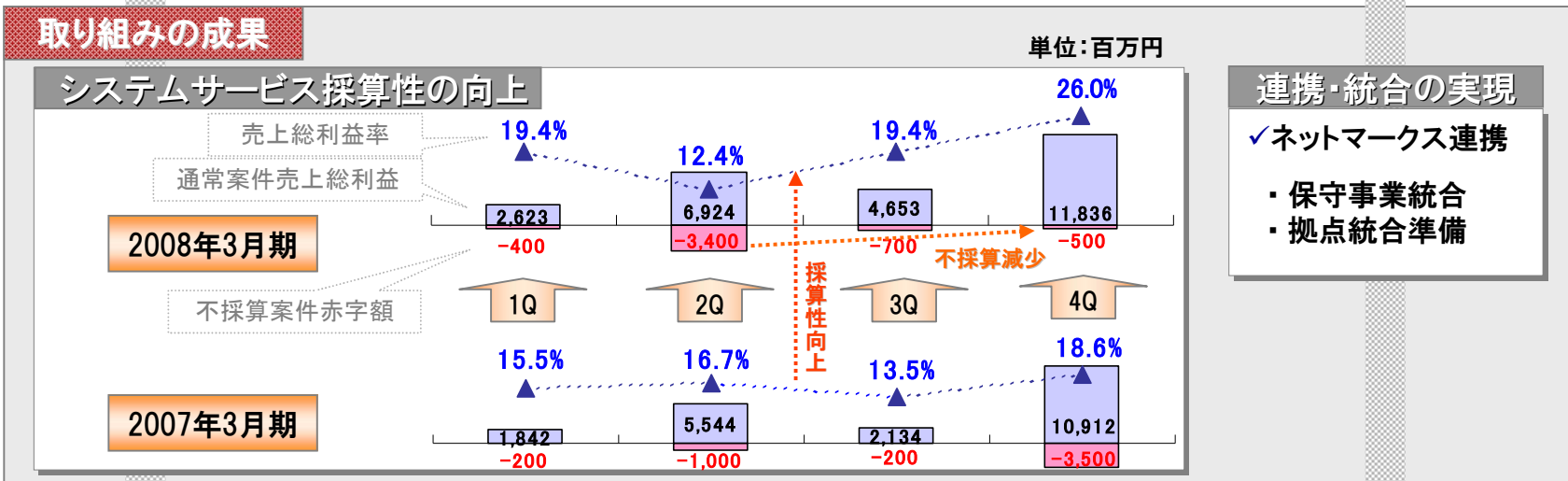
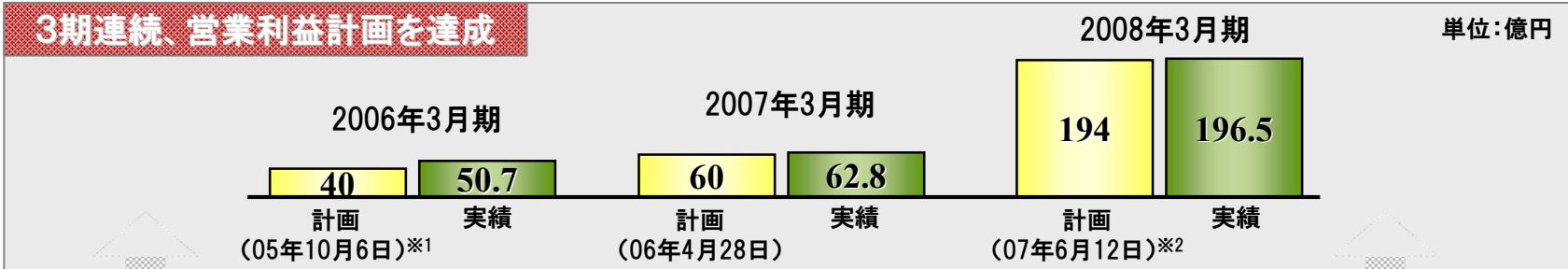
日本ユニシス株式会社
代表取締役社長

靱井 勝人

2007年度の取り組み

「サービス品質の向上」
& 「ICT事業体制の強化」

～重点施策の実施により、特にシステムサービス採算性向上が業績達成に貢献～



連携・統合の実現

- ✓ ネットマークス連携
- ・ 保守事業統合
- ・ 拠点統合準備

重点施策

サービス品質の向上

- ✓ 品質管理体制の強化 (案件審査委員会、行灯システム)
- ✓ システム組織の最適化 (プロジェクト制、要員最適配置)

ICT事業体制の強化

- ✓ ネットマークス連携

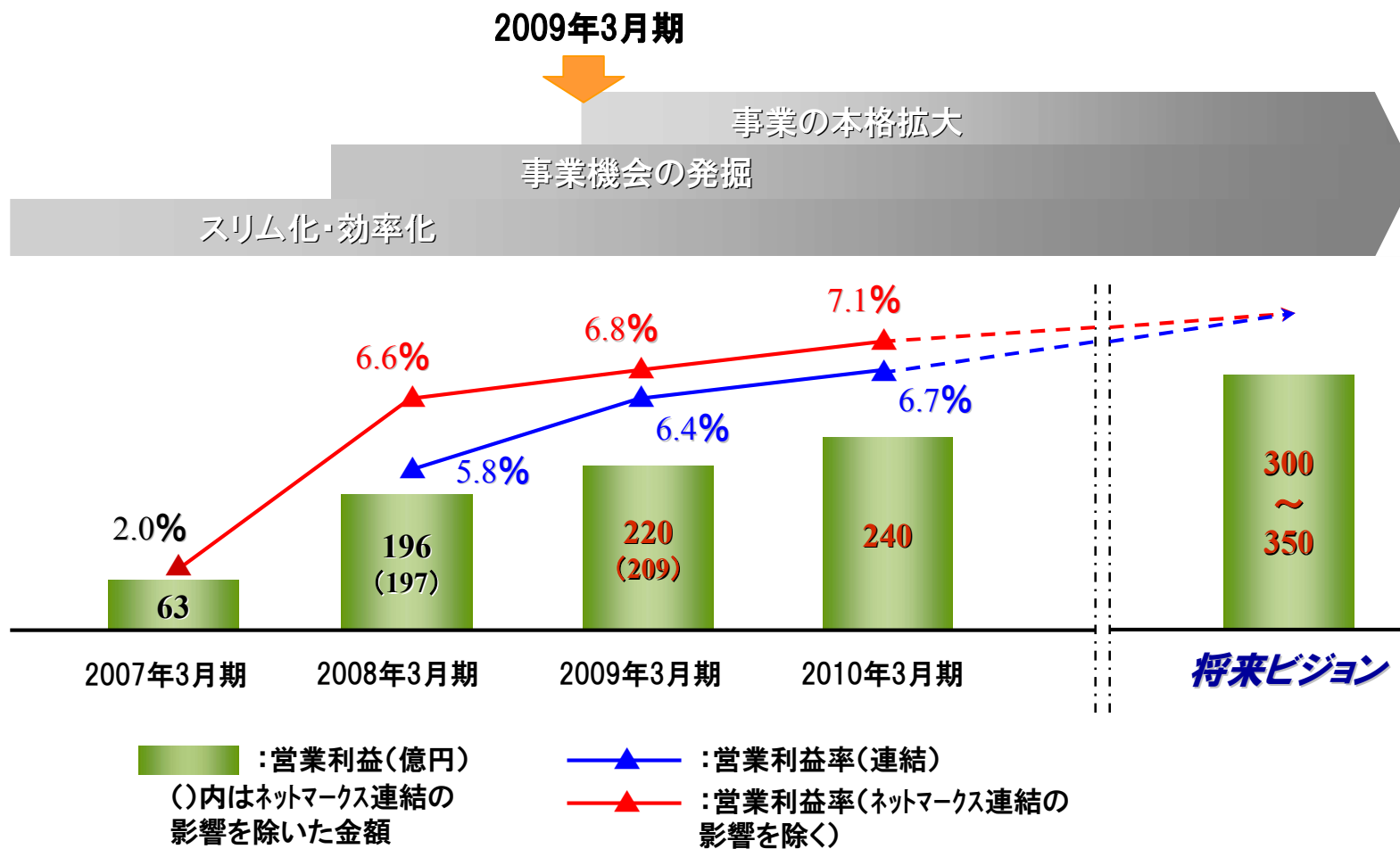
※1 米国UNISYS社への商標権等使用料の契約改定に伴い計画変更

※2 ネットマークス社新規連結に伴い計画変更

成長計画2008－2009の位置づけ

「事業領域拡大への着手」と
「企業体質のさらなる強化」

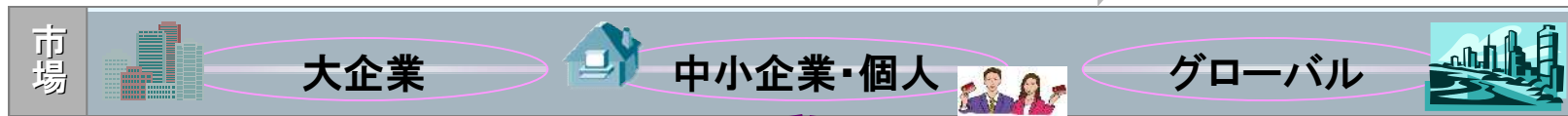
次なる成長に向けたICT市場での事業領域拡大
& 基盤となる収益力向上のための企業体質のさらなる強化



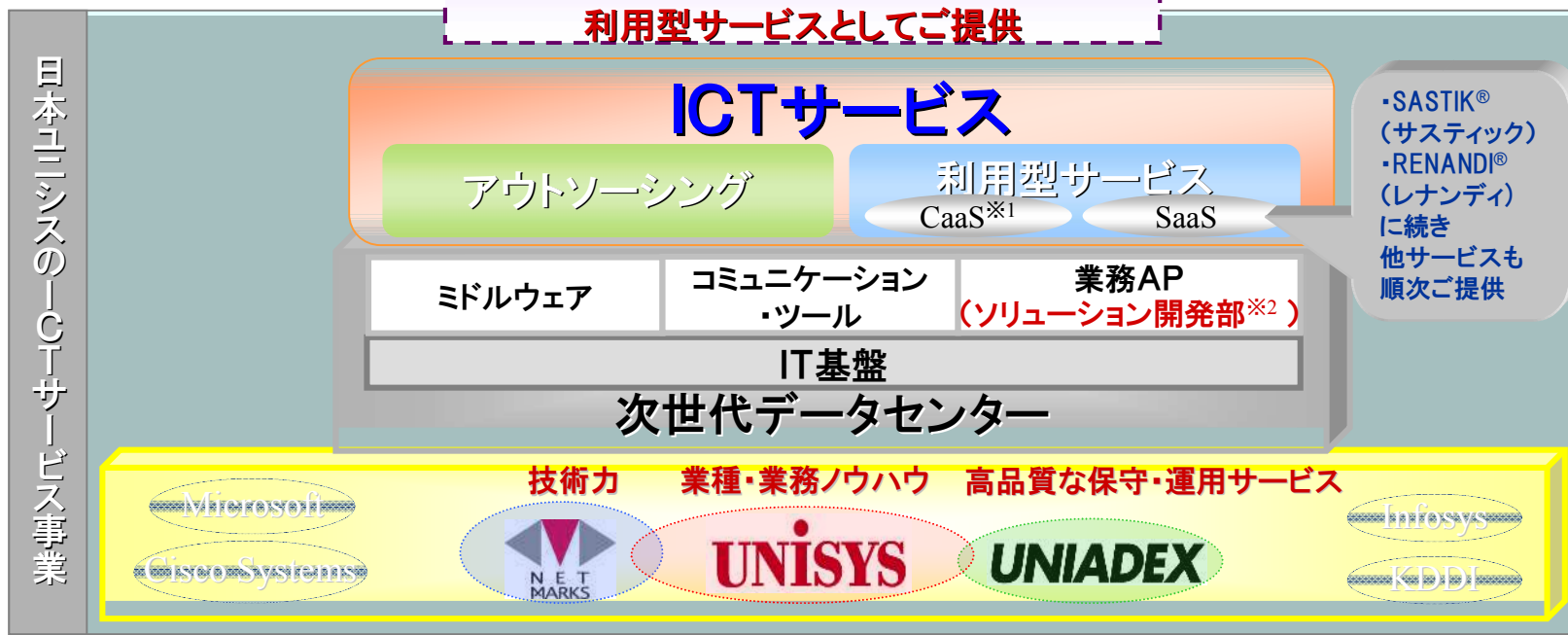
成長計画2008－2009 重点施策① ICT市場での事業領域拡大

「システムインテグレーション事業」に加え、「ICTサービス事業」に参入

- ✓ 企業のIT技術者不足(団塊世代の退職、少子化)
 - ✓ 次世代通信網(NGN)等の普及加速
- 加速化 → 「所有から利用へ」「SIとNIの融合」



ネットワークを介し、必要なサービスをいつでもどこでも、安心安全に利用型サービスとしてご提供



※1 Communication as a Service の略
例えばグローバル・メール・サービスなど

※2 専任組織によるソリューションの強化を実施

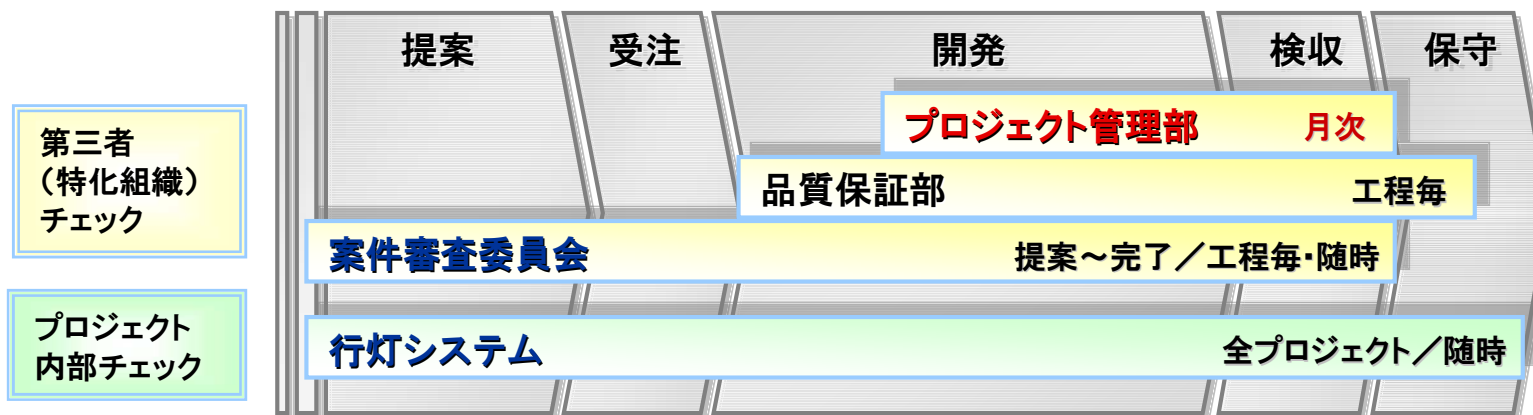
成長計画2008－2009 重点施策②

企業体質の強化

収益力向上のための「企業体質のさらなる強化」に取り組む

サービス品質管理のさらなる強化

- ✓ 行灯システム等の従来施策に加え、専任の第三者(特化組織)によるプロジェクト管理の強化(プロジェクト管理部の新設)⇒不採算案件の減少へ

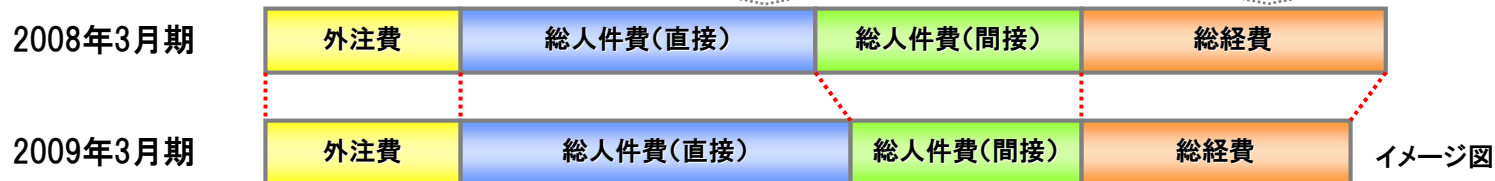


コスト構造のさらなる最適化

- ✓ 人材の有効活用を中心に総コストの低減・圧縮を図る

BPRにより間接業務要員の直接業務シフトを促進

ネットマークス連携等によるコスト低減



U & U

Users & Unisys

UNISYS

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。